

Next ヒライ信



VOL.3
2021年4月
令和3年4月
第260号



がくしゅう 楽習塾 塾長 平井 幸雄 たかお

hiraisin@par.odn.ne.jp

どうようじ いたいじ 動用字・異体字

漢字は種類も多く、複雑な形を持つ文字である。似ていても別の字であったり、違っていても同じ発音や意味が同じものもある。これを異体字ともいう。中でも発音や意味が同じで、漢字を構成する部品（パーツ・偏や旁）も同じで、配置だけが違う漢字のことを「動用字」といいます。

コロナウイルスにも変異株があるように、漢字にも異体字があって、いろいろな字体に変化する。そんな変化をラインナップしてみました。コナも配置を変えてみると 君 になる。

参考：<http://hccweb6.bai.ne.jp/~hgd17901/hirorinhp/1%20kanji/2%20ohanashi/haiti.html>

パーツが左・右（常用漢字）→上・下（動用字）に配置

峰	峯	松	叅	崎	寄	略	畧	群	羣
みね	まつ		さき		りやく		むれ		
町	𡗗	期	朞	魂	魂	椎	𡗗		
まち	き		たましい		しい				

パーツが左・右（常用漢字）→上・下（動用字）に配置

鑑	𦉳	稿	藁	棋	碁	胸	胷	概	槩
かん・かがみ		こう		き		むね		がい	
海	𣊠	シ（さんずい）が 水に変わって移動		愉	愈	ト（りっしんべん） が心が変わって移 動			
うみ				ゆ					

パーツが上・下→左・右に移動

上・下→左・右

界	𡗗	崖	岨	岸	岍	ゆう 勇	ゆう 勳	よく 翌	いき 翊
かい		がけ		きし		いさむ		よく	

パーツを、左⇄右入れ替え

秋	𡗗	隣	鄰	和	𡗗	呪	咒	蘇	蕪
あき		りん		なご（む）		のろい		よみがえる	

パーツを上・下・左・右の四方のどこにも配置

島	島	島	嶋	雑	襪	鵞	鵞	鵞	鵞
				雑は雑の旧字体 冨の部分は衣の 異体字です これが 「衣へん」になり 木が右下に 佳が右上に移った 音読み：ザツ・ソウ 訓読み：ま（じる）		がちょう・ガチョ〜うん？ ガ我 ガ我			

同じ部品でできているが、微妙にあるいは、全く違った意味の漢字

裏	裡	どちらも「衣」＋「里」からなる。「り」と発音も同じ。 「裡」は「成功裡(り)に終わった」「心の裡(うち)を明かす」というふう に使われます。実はこれも「動用字」で、「裏」の異体字です。 「裏」は、「衣」を上下に分割し、間に「里」をサンドウィッチした形です。 成功裡の裏に何かある。裏という漢字には表という漢字も隠されている。 現在では「裏」を「うら」、「裡」を「うち」と読んで使い分けられています。
忘	忙	どちらも心＋亡、音は「ボウ」です。意味は「わすれる」と「いそがし い」でちがう。でも、「心ここにあらず」で意味の共通性がありそうです。 忙しいと忘れる。忘れて慌てて忙しくなる。 官僚や政治家が何をやったか「記憶にありません」と忘れたとうそぶく が、あの方たちは、忙しすぎて忘れるのでしょうか。 われわれは忙しくないのに「ぼ〜っ」として忘れてしまう。
脇	脅	月（にくづき）＋彗（きょう）の組合せで、「脇」と「脅」は本来同字で ある。「きょう」と同じように読む。脇息（きょうそく）脅威（きょうい） 脅迫（きょうはく）。わき、わきばら、かたわら、という同じ意味もある。 しかし、「わき」と「おどす」と意味によって使い分けられます。
讒	讒	讒の上部の佳を、下部の言の左右に分けて配置し讒とした「動用字」。讒 は、シュウ・ジュと読み、あだ、かたき、むくいるの意。 讒が正字で讒は別体のようである。復讒も復讒になっているものもある。



コロナも
配置換えすると
君になる

含	吟	細	累	集	椎	查	相	紫	紕
		累は、つなぐ、かさねるの意					相は、こぼけという木、手すりの意		紕は縷（あや）と同字。絹の美しい模様
棗	棘	猶	猷	架	枷	参考文献 「漢字百陳」―日本の異体字入門― 杉本つとむ著 八坂書房 「現代日本の異体字」三省堂 国立国語研究所プロジェクト選書			
棗はクロウメモドキ科の落葉高木		猷は、はかる、はかりごと、みちの意。		架は架ける、担架。枷は首枷という刑具					